

助役就任あいさつ



助 役 一 誠
大 須 賀

このたび、はからずも助役にご選任いただき、身に余る光栄と共に、その重席に身の引締まる思いであります。

助役の職務につきましては、町長を補佐し、その補助機関たる職員の間担任する事務を監督し、あるいは町長の職務を代理する極めて重要な職務であると認識しております。

今日、市町村を取り巻く行財政環境が大変厳しい状況の中で、新しい改革が求められており、直接仕事に携わる職員の意識改革が重要であります。各々がやりがいのある、「愛する町」幸田町のために最大限の力を発揮することが出来るような環境づくりを考えたいと思います。また、公務員は全体の奉仕者として、町勢発展はもとより、町民の皆様への心の

9月6日開催の議会定例会において選任の同意を得て、助役に大須賀一誠氏（上六栗区）が就任しました。

こもつたよりよいサービスを提供できるように職員一丸となり努力したいと思っております。

もとより微力ではございますが全力を傾注し職務に精励いたす所存でございます。なにとぞ一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

金澤前助役 坂本前収入役が 退任されました

金澤満前助役・坂本邦夫前収入役が9月7日付けをもって退任されました。

新教育委員に

高橋敏文氏



教育委員
高橋 敏文

このたび教育委員会の委員という大役を引き受けることとなり、身の引き締まる思いがいたします。

ご承知のとおり、子どもは学校・家庭・地域が育てると言われています。学校では基礎知識を学び、家庭ではしつけ・家族の大切さを学び、地域においては遊び・行事等を通じて生活のルール・人との関わりを学ぶことにより、バランスのとれた人間性豊かな子どもが育つものと思えます。最近では、子どもが犯罪に巻き込まれる痛ましい事件が多く発生しています。最近では、その原因が誠に身勝手な考えに基づいており、残念でなりません。学校・家庭・地域・行政の連携のもと、次代を負う子どもたちが人間性豊かに育ってくれることを願っています。

教育に関して、特別な知識は持っていないませんが、過去の経験を基に自分なりに努力して、少しでも貢献できればと考えていますので、ご指導のほどをお願いいたします。

交通事故防止に 向けた県知事から のメッセージ

県民の皆様へ 交通事故防止のお願い

県民の皆様、愛知県は年初から交通事故死者数全国ワースト1位が続いています。

交通事故は、いたいけななお子さん、将来への夢を抱く若者、家族の柱となるお父さんやお母さん、そしてこれまで一生懸命生きてこられたお年寄りの尊い命を一瞬にして奪い去ります。

死亡事故に至らなくとも、大変な怪我をされ、心身ともに苦痛の毎日を過ごされる方もいらっしゃいます。

ご本人の無念さはもとより、そのご家族や関係者の深い悲しみは想像に余りあるものがあります。

交通事故を起こしたドライバーは、一生償わなければならない大きな責任を負うことになるとともに、そのご家族に大きな負担を強いることとなります。

悲惨な交通事故を一件でも減らすために、愛知県では、これまで県民の皆様のご理解とご協力を得ながら



10月10日(火)から岡崎ナンバーがスタートします 10月28日(土)「秋の南公園まつり」会場で 岡崎ナンバーに交換できます

岡崎ナンバーのスタートにともない、10月28日(土)『秋の南公園まつり(岡崎市)』で120台(うち幸田町20台)の自動車ナンバーを岡崎ナンバーに交換します。あなたのクルマも岡崎ナンバーにしませんか。

対象者 町内在住で次のいずれにも該当する自動車をお持ちのかた(字光式ナンバーは除く)

- ①自家用の普通乗用自動車・小型乗用自動車・小型貨物自動車 *軽自動車は除く
- ②所有者と使用者が同一
- ③自動車検査証の住所、氏名に変更がない

定員 20人 *1人1台に限り申込み可。申込み者多数時は抽選を行い、結果は全員に郵送で通知します。

費用 1,440円(ナンバープレート実費)

申込み はがきに①郵便番号・住所②申請者氏名③普通乗用自動車・小型乗用自動車・小型貨物自動車の別④現在の自動車ナンバー⑤電話番号を記入し、〒444-0192、幸田町役場企画情報課へお申し込みください。10月13日(金)必着です。

そのほか 当選者は、10月22日(日)に幸田町役場で所定の手続きを行います。詳しくは、当選結果通知でお知らせします。

問合せ 企画情報課駅対策係(内線321)

防災遠視カメラシステムを 9月1日から 運用開始しました

役場庁舎屋上に遠視カメラを1台、広田川に水位監視カメラを2台設置し、24時間体制で災害時における画像収集し、リアルタイムで確認できます。



▶水位監視カメラ



▶遠視カメラ

問合せ 消防課防災係
63-01119

様々な取組を行ってまいりました。しかし、残念ながら交通事故死亡事故は、一向に減ってまいりません。

これから年末にかけては、交通事故が多発する時期となります。このため、県では、警察、市町村並びに関係団体の皆様とともに、一層強力な交通安全対策を展開することといたしました。秋の交通安全県民運動初日の9月21日からは「交通事故死『ストップ・ザ・ワースト』フェイナル100日作戦」も実施してまいります。

どうか、県民の皆様におかれましては、交通事故を他人事ではなく、自分自身とご家族の問題として受け止めていただき、安全運転や安全行動など交通事故の防止に最大限努力していただきますようお願い申し上げます。

平成18年9月4日

愛知県知事

神田直秋

中学生海外派遣報告

8月14日から21日までの8日間の日程で、第18回幸田町中学生海外派遣団（生徒20人、引率者4人）がオーストラリアのケアンズ市を訪問しました。

4泊のホームステイ、セントメアリーカソリックカレッジスクールへの体験入学を行い、オーストラリアの人々や現地の学校との交流を行いました。

感性豊かな中学生が、同世代の若者との交流や体験を通じて学んだことを報告します。

現地校で学んだこと

僕は現地校での体験入学を通して、オーストラリアの学校について多くのことが印象に残りました。先生方がスーツではなく私服で授業をされていることもあり、堅苦しい雰囲気はなく、みんなが気軽に授業を受けているというのが第一印象でした。また、授業を受ける生き生きとした表情もとても印象的でした。

授業では、日本に比べて生徒が意見を言う場がたくさん設けられていました。様々な場面で「自分の意見を自分の言葉で話す」ということが強く求められているようでした。日本で重要視されている『協調性』よりも『自主性』が重要視されているということを強く感じました。『協調性』『自主性』どちらも大切なことだと思えます。国によって歴史や文化が異なるように、重要視されることも違います。お互いの良さを認め、良いところを取り入れていけば、日本での僕たちの学校生活もより良いものになっていくと思えました。

現地の学校で、スクールバディと一緒に授業を受け、同じように学校生活を送ったことにより、貴重な体験をすることができたことと同時に、日本について改めて考えることできたと思います。自分の学んだことを一人でも多くの友達に伝えることで、お世話になった方々への感

第18回 幸田町中学生海外派遣団

幸田中学校

佐野 裕介 鋤柄 智久 山本 稜真 池田 圭織
池田 友香 河野 真子 福澤 絵未 牧原 佑衣

南部中学校

加藤 圭悟 志賀 康平 竹本 悠華 本多 都
八木 菜月

北部中学校

小山 武蔵 丹羽 正樹 野沢 征史 水野 元陽
都築 祥子 藤田 尚子 山本 早織

引率者

塚水尾 顕治 小野良 琢也 磯部 妙子 近藤 正義



謝の気持ちを表していきたいと思えます。（幸田中学校 佐野 裕介）

心の交流

海外派遣のメンバーに選ばれたときから一番楽しみにしていたのは、ホームステイでした。わたしのホームステイ先は、ちょうど従姉妹の家族も来ていて、9人の大家族でした。

オーストラリア人は明るく陽気というイメージを持っていた私でしたが、13才・12才・10才の3姉妹と11才の従姉妹は、想像とは違いとても引っ込み思案な女の子たちでした。英語が上手くしゃべれない私は、どうしたらコミュニケーションがとれるのか、とまどい悩みました。



しかし、私が持って行ったヴァイオリンに興味をもってくれてからは、音楽を通してみんなと仲良くなることができました。国は違って、人間としての感性は同じということを実感しました。

ホストファミリーのおかげで、今まで遠い国だったオーストラリアが身近で大好きな国になりました。貴重な大変心に残る体験をさせていただき、ありがとうございました。

(南部中学校 本多 都)

オーストラリアの自然に絶句！

私たちは、初日と最終日に社会見学を行いました。初日は、オーストラリアにいった喜びをかみしめつつ、植物園に行きました。日本では絶対に見ることができない大きなヤシの木や、南国特有の熱帯雨林を見ることができました。

キュランダ列車での体験もすばらしいものでした。ケアンズ中心部からキュランダに続くこの列車は、100年前に敷設された歴史ある線路をゆっくり進みます。窓から見える水平線や、壮大なパロン滝にとっても感動しました。そして到着地点のキュランダ村での自由行動で、クロコダイルやカンガルーを間近に見ることができました。

最終日には、世界遺産であるグレートバリアリーフを見学しました。この日は、親切にしてくださいましたホストファミリーとのお別れで、最初のうちはとても暗いムードが漂っていました。しかし、船に乗った瞬間、揺れたり、波が体にかかっ

たりでみんなの顔がどんどん明るくなりました。1時間半の船旅でようやくグレートバリアリーフに着きました。青く澄みきつた海には、今まで青白い顔をしていた人も興奮して目を輝かせていました。ここでは海に潜って、色とりどりの魚を間近で見ることができました。青い海や魚を見て、この自然をいつまでも残す為には、私たち一人ひとりの努力が大事なのだとつくづく感じました。



見学を通して、現地の人々の優しさや、温かさを身をもって体感することができました。そして、オーストラリアの壮大な自然を未来まで残すために、現地の人だけじゃない全世界の人々が努力することが大事なのだということを勉強することができました。

(北部中学校 藤田 尚子)

心のお土産を分け合って



団 長 水 尾 顕 治
た 水 尾 顕 治
(北部中学校校長)

派遣生たちは、幸田町を代表する中学生だけあって、ホストファミリーとの4日間の生活にすぐに溶け込み、現地校での2日間の学校生活では、スクールバディ(現地校の級友)たちとともに授業を受け、コミュニケーションを満喫しました。また、現地校での日本紹介やホストファミリーとお別れパーティーでは、日本の歌や踊りを披露し大好評を博しました。この体験が派遣生徒たちにとっていかに貴重であったかを引率者として実感しています。

この体験を、各学校に心のお土産として持ち帰り、これからの学校生活に生かしてほしいと思います。また、派遣生がこの体験を生かし、幸田町に貢献してくれることを期待しています。

R(リデュース) **Reduce**

特集2 **3R**ってなあに?

10月は3R推進月間です

R(リユース) **Reuse**

R(リサイクル) **Recycle**

皆さんは、「3R」という言葉を耳にしたことはありませんか？聞いたことはあるけれど、その意味を詳しく知らないという人も多いのではないかと思います。そこで今回は、この「3R」について勉強していきます。

3 Rとは、REDUCE(リデュース)、REUSE(リユース)、RECYCLE(リサイクル)の頭文字である3つの「R」のことを言います。

まずリデュースとは、「ごみを出さない」ということです。3つのRの中で最も効果的で重要なのがこのリデュースです。次にリユースとは、「もつ一度使う、繰り返し使う」という活動です。そしてリサイクルとは、「使用が終わったものを、もう一度原料に戻して再生利用する」とことです。

3Rは、ごみを減らすための効果的な手段です。私たちは、普段からこの3Rを心がけることで、家庭から出るごみの量を減らすことができます。

平

成17年度に幸田町から出されたごみの総量(7ページ表参照)は、1万240トンで過去最高となっています。その中で、家庭系のごみが8割以上を占めています。つまり、家庭から出るごみの量を減らすことは、町全体のごみの減量にもつながるのです。

で

は、3Rを心がけるには日常生活でどのようなことに気をつければよいのでしょうか。具体的には、次のことに気をつけましょう。

REDUCE (発生抑制)

日常生活でごみを減らすことは案外難しいものですが、ごみになるものを買わないことで、ごみは確実に減らせます。ごみ減量化の第一歩はごみになるものを断ることです。

具体的には・・・

- ・買い物へはマイバックを持参し、レジ袋はできるだけ断る
- ・食べ物に残さないよう、買い物や料理を計画的に行う
- ・使い捨ての容器に入った食品・何重にも包装してあるもの・家で使うものへの包装は断る

REUSE
(再使用)

ものを長く使うことも、ごみを減らすことにつながります。使わなくなったものを捨てる前に、もう一度修理したり、他の人に譲り使ってもらうなど、もう一度活かす道を考えましょう。

具体的には・・・

- ・電気製品や家具、おもちゃなどは大事に使い、壊れたら修理して使う
- ・繰り返し使えるリターナブル瓶の商品を買うようにする
- ・再生紙などのリサイクル商品を買うようにする

- ・古くなった洋服を作り直したり、雑巾に利用したりする
- ・プラスチック容器（詰め替え式のシャンプー容器など）は何度も繰り返し使う

RECYCLE
(再生利用)

製品として再利用できなくても、製品の原料として活用できるものはごみではありません。ごみにするのでも、資源にするのも私達の心掛け次第です。

具体的には・・・

- ・資源となるごみの分別を徹底して、資源化しやすいよう、きちんとごみ出す
- ・スーパーなどの店頭回収（牛乳パック、食品トレーなど）に資源物を持って行く



このように、3R活動には色々な取り組みがありますが、一番大切なことは、一人ひとりが自分の問題という意識を持って、できることから始めることです。

私達は残念ながら、ごみをまったく出さずに生活することは出来ません。しかし、限りある資源を守るためには、これらを出る限り再利用して資源として循環させ、有効に使う必要があります。地球の環境を守るのは私達のちょっとした心掛の積み重ねです。

皆さんも少しずつ、自分のできることから始めてみてはいかがでしょうか。

【表】幸田町ごみ総排出量の推移

単位：t

	区分	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
家庭系	燃やすごみ	4,827	4,928	4,445	4,421
	資源物	764	844	1,183	1,243
	資源回収	2,031	2,117	2,114	2,124
	埋立ごみ	85	86	82	65
	粗大ごみ	576	635	658	620
	合計	8,283	8,610	8,482	8,473
事業系		1,269	1,536	1,623	1,768
総合計		9,552	10,146	10,105	10,241

